

助成者：	凌 祥之	助成期間：	2017年4月～2020年9月（3年間）
所 属：	九州大学大学院農学研究院 教授		

## 北部タイの山岳地域における土と水の保全

【活動場所】 タイ北部チェンマイ県メーチェム郡

【事業目的】 トウモロコシ栽培の拡大により急激な森林伐採と残渣焼却処理による煙害が発生。土壌浸食と保水能力低下による下流域の洪水被害にも結びついている状況。地域の土と水を保全し、農民の生活向上を目的に活動を実施。

主な活動内容：①トウモロコシ残渣の野外焼却に代わる代替措置

- ・ バイオチャーの生産と技術の普及ワークショップ開催  
地域の農家10名とメー・ワック校児童25名、チェンマイ大学生等10名が参加



ワークショップ風景

- ・ 炭化実証試験  
安価で炭化が可能な伏せ焼きを行う
- ・ 炭の堆肥化実証試験  
炭とトウモロコシ残渣を混ぜ堆肥化を行う

②トウモロコシに代わる付加価値の高い作物導入

- ・ 無農薬野菜の有機栽培（トマト、バジルなど）
- ・ トウモロコシ残渣の被覆効果の検討



伏せ焼きで炭化